

こんにちは、独立行政法人 環境再生保全機構（ERCA：エルカ）です。

研究課題の進捗管理・助言・指導を行っているプログラムオフィサー（PO）が、
推進費申請のコツや工夫、注意すべきポイント等を連載でお伝えしています。
令和8年度新規課題の応募に向けて、ぜひご活用ください！

■環境研究の特質を考えた申請を

資源循環領域の課題を想定します。

研究費の申請にあたって、
申請者の強みとする「技術（要素）」を核とすることは当然と思います。
新規性、独創性、そして将来の実用への発展性を備えたコア技術です。

このことはいずれの研究資金制度においても同様ですが、
環境研究ならではの特質と考慮すべき点があります。

第一に排ガス、排水、廃棄物等の環境媒体は通常大量に発生し、
量・質の変動も大きいことがあげられます。

またすばらしい出力（製品等）を生み出せたとして、
それが実社会で滞りなく有効に使われなければ意味がありません。
溜まる一方ということにもなり得ます。
できれば持続的な循環を成立する仕組みができるとよいでしょう。

求められる社会実装ですが、
現実感をもって、ただし実装までの距離は多様であってよいのです。

問題はどこまでの範囲を研究するのかを明確にし、
社会実装への道筋を描くことができるかです。

それが環境政策への貢献につながります。

今回は「審査の観点：有効性」について
資源循環領域の社会実装を例にとってお話でした。

次回は「研審査の観点：効率性」を配信の予定です。
楽しみにお待ちしております。

※本連載では各 PO からのメッセージを連載でお届けしております。
文体や表現方法に違いがある場合がございます。

多くの皆さまの、環境政策へ貢献する研究提案を心よりお待ちしております。

公募期間：9月8日（月）～10月10日（金）14時

<https://krs.bz/erca/c?c=58&m=286&v=4a2c91ed>

【公募全般に関するお問合せ先】

suishinhi-koubo@erca.go.jp

件名の先頭に【公募問合せ】と記入していただけますと幸いです。

■独立行政法人 環境再生保全機構（ERCA）

環境研究総合推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番

ミューザ川崎セントラルタワー9階

■メールマガジン配信停止について

配信停止を希望される方は、次の配信解除フォームよりお申込みください。

<https://krs.bz/erca/m?f=187>

※このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

※このメールに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

<https://www.erca.go.jp/erca/mail/index.php?conf=suishinhi>